



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 ヒラキ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3059 URL <https://company.hiraki.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)伊原 英二
問合せ先責任者 (役職名)取締役現業支援本部長 (氏名)姫尾 房寿 (TEL) (078)967-4601
定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	13,313	△6.8	△46	—	0	△99.5	△15	—
2023年3月期	14,288	△6.0	155	△77.5	188	△72.8	111	△76.1

(注) 包括利益 2024年3月期 △0百万円 (— %) 2023年3月期 133百万円 (△68.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△3 12	—	△0.2	0.0	△0.3
2023年3月期	22 94	—	1.5	1.1	1.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	16,263	7,355	45.2	1,511 12
2023年3月期	16,438	7,452	45.3	1,531 13

(参考) 自己資本 2024年3月期 7,355百万円 2023年3月期 7,452百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1,425	△890	△305	2,860
2023年3月期	△899	746	△268	2,628

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00	97	87.2	1.3
2024年3月期	—	10 00	—	10 00	20 00	97	—	1.3
2025年3月期(予想)	—	10 00	—	10 00	20 00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	0.8	60	50.7	60	74.5	40	166.6	8 22
通期	13,900	4.4	150	—	150	—	100	—	20 54

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名)、除外 — 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	5,155,600株	2023年3月期	5,155,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期	288,193株	2023年3月期	288,193株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	4,867,407株	2023年3月期	4,869,893株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	13,313	△6.8	△7	—	7	△96.4	△8	—
2023年3月期	14,288	△6.0	192	△73.0	202	△70.5	125	△72.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△182	—
2023年3月期	2574	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	16,271	7,383	45.4	1,516.90
2023年3月期	16,429	7,472	45.5	1,535.25

(参考) 自己資本 2024年3月期 7,383百万円 2023年3月期 7,472百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、経済活動はコロナ禍から正常化に向け緩やかな回復基調にありました。一方、為替相場やエネルギー価格の変動に加えて、原材料価格の高騰に伴う物価上昇等により消費者の生活防衛意識が高まるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いておりました。

このような経済環境の下、当社グループは2021年度～2023年度を計画期間とする中期経営計画において、2023年度の経営方針を「原点経営の推進」とし、事業の中核であるオリジナル商品を磨き上げることにより、通信販売・店舗販売・卸販売各事業を通して、お客様に「驚き」「楽しさ」「満足感」を提供すべく事業展開を推し進めてまいりました。しかしながら、収益の中核である通信販売事業の売上高が前期を下回った結果、当連結会計年度における連結売上高は、133億13百万円（前期比6.8%減）、営業損失は46百万円（前期は営業利益1億55百万円）、経常利益は0百万円（前期比99.5%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は15百万円（前期は当期純利益1億11百万円）となりました。

当社グループの報告セグメントの当連結会計年度における業績は、次のとおりであります。

① 通信販売事業

通信販売事業におきましては、商品面では2023年春夏・秋冬シーズンに続き、2024年春夏シーズンに超低価格の「JOG軽Air」、「ビットローファー」、「ミニショルダーバッグ」、「ステンレスボトル」等数多くの販売促進商品のほか、靴・衣料・雑貨等の春夏新商品を約350点投入いたしました。販売促進面では、テレビCM、TVer動画広告、インフルエンサーによるPR投稿のほか新学期前のスクール応援キャンペーン、アプリ80万ダウンロード突破キャンペーン等、まとめ買い割引およびクーポン付与等の販売促進策を精力的に展開し、受注件数の増加に努めてまいりました。しかしながら、販売促進商品が消費者に十分に受け入れられず、全体の受注を牽引するに至りませんでした。また、ディスカウント通販を特徴とする当社にあって、円安による輸入価格上昇のため価格改定を行ったことや、物価高による実質賃金が低下する中、商品開発面において商品の価値を魅力的かつ効果的にお客様に十分にお伝えすることができなかったことにより、受注件数は前期を下回りました。

この結果、売上高は66億84百万円（前期比14.7%減）となりました。利益面は、売上総利益率は前期を上回り販管費の一層の削減を図りましたが、減収の影響が大きく、セグメント利益は2億88百万円（前期比45.8%減）となりました。

② 店舗販売事業

店舗販売事業におきましては、人流の回復ならびに一昨年オープンした岩岡本店および昨年8月にオープンした姫路店の「おかし館」効果により集客力が高まり、来店客数・購入単価・買上点数ともに堅調に推移しました。部門別では、靴部門が総合店に加え靴専門店3か店の新店オープンも寄与し、オリジナル商品を主体に前期を大きく上回りました。靴専門店の靴売上は全店オリジナル商品靴売上の約50%に達し、売上総利益率アップに寄与しました。また、食品部門は「おかし館」効果が、お菓子以外のカテゴリーへも波及し前期を上回りました。

この結果、売上高は64億17百万円（前期比3.8%増）となりました。利益面は、靴専門店出店による人件費の増加を主因とした販管費の増加を増収によりカバーし、セグメント利益は58百万円（前期比474.5%増）となりました。

③ 卸販売事業

卸販売事業におきましては、新規取引先およびスポット販売先の受注は堅調に推移した一方、主力取引先への販売が前期を大きく下回った結果、売上高は2億10百万円（前期比21.2%減）となりました。利益面は、売上総利益率が改善したものの減収の影響により、セグメント損失は10百万円（前期は損失17百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ40百万円減少し、107億32百万円となりました。これは、商品が9億41百万円、その他の流動資産が1億43百万円減少し、現金及び預金が10億61百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億34百万円減少し、55億31百万円となりました。これは、建物及び構築物が1億48百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億75百万円減少し、162億63百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ95百万円増加し、37億8百万円となりました。これは、その他の流動負債が2億45百万円増加し、買掛金が89百万円、未払金が87百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億73百万円減少し、52億円となりました。これは、長期借入金が1億91百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、89億8百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ97百万円減少し、73億55百万円となりました。これは、利益剰余金が1億12百万円減少したこと等によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント低下し、45.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」で得られた資金を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」および「財務活動によるキャッシュ・フロー」で使用した結果、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加し、28億60百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、14億25百万円（前期は8億99百万円の使用）となりました。これは主に、棚卸資産の減少額9億20百万円、減価償却費2億97百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億90百万円（前期は7億46百万円の獲得）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出14億30百万円、定期預金の払戻による収入6億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億5百万円（前期比13.8%増）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出21億62百万円、長期借入れによる収入20億円によるものであります。

(4) 今後の見通し

(次期(2025年3月期)の見通し)

今後の経済情勢は、マイナス金利が解除されたものの緩和的な金融政策が当面続き、円安基調が続くと予想され、また、原材料価格の高騰による物価の上昇を受け、消費者の節約志向を招く懸念があるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が予想されます。

このような状況の下、次期は「オリジナル商品の価値向上」を基本戦略に掲げ、開発体制を強化するとともに一括大量発注を更に追求し、商品力の強化を通して売上高の増嵩および持続可能な利益の創出に努めます。また、価格以上の価値をお客様に提供すべく、顧客満足度の高い商品の提供を目指してまいります。

通信販売事業におきましては、商品開発力の強化を第一とし、訴求力ある販売促進商品の開発およびシーズンにとらわれない新商品の計画的かつ継続的開発・販売により売場鮮度を高めお客様の高い支持を得ることで、新規・既存顧客の受注拡大に取り組んでまいります。また、カタログ配布方法の見直し等の効率化と併せSNSを最大限活用したマーケティング強化により、受注率の向上に取り組んでまいります。

店舗販売事業におきましては、旗艦店「岩岡本店」の更なる賑わい創出のために、青空市・フリーマーケット等の集客イベントを継続的に開催し、新規顧客・リピート顧客の創出に取り組んでまいります。また、靴専門店は、オリジナル商品に特化した店づくりと効率的なオペレーションの標準化を更に推し進め、阪神地区を中心にドミナント出店を加速し、50店舗体制への布石を打つよう努めてまいります。

卸販売事業におきましては、営業黒字確保を第一に、大口取引先への安定的販売確保と、販売拡大が見込まれる取引先へのODM営業の強化および売上総利益率の高い大卸しの売上構成比をアップし、採算強化に取り組んでまいります。

以上の取り組みを達成することによって、持続的な業績向上につなげてまいります。2025年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は139億円（前期比4.4%増）、営業利益は1億50百万円（前期は営業損失46百万円）、経常利益は1億50百万円（前期比15,537.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億円（前期は当期純損失15百万円）を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当面は日本基準を採用することとしております。IFRS（国際財務報告基準）の適用時期は決定しておりませんが、今後の動向を注視して、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,728,799	6,790,598
売掛金	938,670	898,326
商品	3,790,762	2,849,203
未着商品	53,851	75,804
貯蔵品	13,214	11,985
その他	255,930	112,865
貸倒引当金	△7,925	△6,319
流動資産合計	10,773,304	10,732,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,406,817	7,447,478
減価償却累計額	△5,370,034	△5,559,080
建物及び構築物（純額）	2,036,783	1,888,397
機械装置及び運搬具	137,229	136,141
減価償却累計額	△121,379	△124,949
機械装置及び運搬具（純額）	15,850	11,192
土地	3,098,931	3,098,931
その他	910,094	893,337
減価償却累計額	△768,111	△750,133
その他（純額）	141,982	143,203
有形固定資産合計	5,293,547	5,141,724
無形固定資産	100,718	72,496
投資その他の資産		
投資有価証券	62,970	98,201
繰延税金資産	137,207	145,089
その他	71,218	73,665
投資その他の資産合計	271,396	316,955
固定資産合計	5,665,662	5,531,177
資産合計	16,438,967	16,263,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	708,950	619,758
1年内返済予定の長期借入金	1,943,116	1,972,614
未払金	709,498	621,712
未払法人税等	12,379	12,940
賞与引当金	111,985	111,237
契約負債	19,463	17,031
その他	107,470	352,864
流動負債合計	3,612,863	3,708,158
固定負債		
長期借入金	5,049,956	4,858,381
退職給付に係る負債	189,356	195,890
資産除去債務	35,711	52,783
その他	98,452	93,174
固定負債合計	5,373,476	5,200,229
負債合計	8,986,339	8,908,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,452	450,452
資本剰余金	1,148,990	1,148,990
利益剰余金	5,947,044	5,834,534
自己株式	△154,633	△154,633
株主資本合計	7,391,853	7,279,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,753	37,409
繰延ヘッジ損益	36,688	25,882
為替換算調整勘定	14,332	12,618
その他の包括利益累計額合計	60,774	75,910
純資産合計	7,452,627	7,355,252
負債純資産合計	16,438,967	16,263,641

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	14,288,323	13,313,840
売上原価	7,666,904	7,233,036
売上総利益	6,621,418	6,080,803
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,804,239	1,700,364
販売運賃	770,090	629,289
貸倒引当金繰入額	7,916	6,319
給料手当及び賞与	1,803,844	1,802,734
賞与引当金繰入額	111,985	111,237
その他	1,968,300	1,877,183
販売費及び一般管理費合計	6,466,377	6,127,128
営業利益又は営業損失(△)	155,041	△46,324
営業外収益		
受取利息	6,369	5,643
受取配当金	2,389	2,436
受取補償金	21,780	15,815
為替差益	9,165	29,909
受取手数料	13,529	11,557
その他	11,264	13,396
営業外収益合計	64,498	78,758
営業外費用		
支払利息	27,300	28,543
その他	3,444	2,930
営業外費用合計	30,744	31,474
経常利益	188,795	959
税金等調整前当期純利益	188,795	959
法人税、住民税及び事業税	81,149	26,267
法人税等調整額	△4,055	△10,146
法人税等合計	77,094	16,121
当期純利益又は当期純損失(△)	111,700	△15,162
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	111,700	△15,162

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	111,700	△15,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,458	27,655
繰延ヘッジ損益	15,912	△10,805
為替換算調整勘定	△1,379	△1,714
その他の包括利益合計	21,991	15,135
包括利益	133,692	△26
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	133,692	△26
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	5,932,760	△151,191	7,381,010
当期変動額					
剰余金の配当			△97,416		△97,416
親会社株主に帰属する当期純利益			111,700		111,700
自己株式の取得				△3,441	△3,441
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	14,284	△3,441	10,842
当期末残高	450,452	1,148,990	5,947,044	△154,633	7,391,853

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,295	20,775	15,712	38,782	7,419,792
当期変動額					
剰余金の配当					△97,416
親会社株主に帰属する当期純利益					111,700
自己株式の取得					△3,441
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	7,458	15,912	△1,379	21,991	21,991
当期変動額合計	7,458	15,912	△1,379	21,991	32,834
当期末残高	9,753	36,688	14,332	60,774	7,452,627

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	450,452	1,148,990	5,947,044	△154,633	7,391,853
当期変動額					
剰余金の配当			△97,348		△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△15,162		△15,162
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△112,510	-	△112,510
当期末残高	450,452	1,148,990	5,834,534	△154,633	7,279,342

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	9,753	36,688	14,332	60,774	7,452,627
当期変動額					
剰余金の配当					△97,348
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△15,162
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	27,655	△10,805	△1,714	15,135	15,135
当期変動額合計	27,655	△10,805	△1,714	15,135	△97,374
当期末残高	37,409	25,882	12,618	75,910	7,355,252

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	188,795	959
減価償却費	285,270	297,190
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△412	△1,605
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,311	△748
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,882	6,533
受取利息及び受取配当金	△8,759	△8,079
支払利息	27,300	28,543
為替差損益 (△は益)	7,587	△627
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,784	40,635
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△875,539	920,835
仕入債務の増減額 (△は減少)	△96,205	△91,716
契約負債の増減額 (△は減少)	△3,119	△2,431
その他	△206,682	271,596
小計	△717,978	1,461,086
利息及び配当金の受取額	9,015	7,877
利息の支払額	△27,122	△28,549
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△163,353	△14,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	△899,439	1,425,940
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,800,000	△1,430,000
定期預金の払戻による収入	3,700,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△108,942	△55,786
有形固定資産の売却による収入	72	63
無形固定資産の取得による支出	△42,380	-
投資有価証券の取得による支出	△651	△549
その他	△1,284	△4,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	746,813	△890,771
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,100,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,224,717	△2,162,077
自己株式の取得による支出	△3,441	-
配当金の支払額	△97,452	△97,337
その他	△43,237	△46,536
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,847	△305,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,387	2,581
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△427,861	231,799
現金及び現金同等物の期首残高	3,056,660	2,628,799
現金及び現金同等物の期末残高	2,628,799	2,860,598

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品を販売する業態別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品や顧客に対する販売促進施策等について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は各事業部門を基礎とした販売業態別セグメントから構成されており、「通信販売事業」、「店舗販売事業」および「卸販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各事業の主な内容は次のとおりであります。

- (1) 通信販売事業・・・自社オリジナル商品を中心とした、カタログ、インターネットによる靴・履物、衣料品、日用雑貨品等の販売
- (2) 店舗販売事業・・・ディスカウント業態の店舗による靴・履物、食料品、衣料品、日用雑貨品等の販売および靴専門店による靴・履物等の販売
- (3) 卸販売事業・・・OEM開発商品を中心とした、大手小売店、量販店等への靴・履物等の販売

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会社方針に準拠した方法であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産その他の項目の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,834,997	6,185,476	267,849	14,288,323	—	14,288,323
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,834,997	6,185,476	267,849	14,288,323	—	14,288,323
セグメント利益 又は損失(△)	532,318	10,101	△17,463	524,956	△369,915	155,041
セグメント資産	5,570,095	4,749,079	132,668	10,451,844	5,987,122	16,438,967
その他の項目						
減価償却費	124,521	141,653	8,081	274,255	11,014	285,270
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	116,846	101,151	419	218,417	—	218,417

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△369,915千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額5,987,122千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃39,499千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注2)
	通信販売事業	店舗販売事業	卸販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,684,923	6,417,919	210,998	13,313,840	—	13,313,840
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,684,923	6,417,919	210,998	13,313,840	—	13,313,840
セグメント利益 又は損失(△)	288,312	58,032	△10,061	336,283	△382,608	△46,324
セグメント資産	4,479,332	4,767,256	117,323	9,363,912	6,899,728	16,263,641
その他の項目						
減価償却費	129,171	150,735	7,945	287,852	9,338	297,190
有形固定資産および 無形固定資産の増加額	12,372	104,522	216	117,111	767	117,878

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△382,608千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に現業支援本部等管理部門に係る一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額6,899,728千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に当社での余資運用資金(現金及び預金)および管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。
- 3 当社グループの売上高は、受取家賃39,424千円を含み、その他はすべて顧客との契約から認識した収益です。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産	1,531円13銭	1,511円12銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	22円94銭	△3円12銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	111,700	△15,162
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (千円)	111,700	△15,162
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,869	4,867

(重要な後発事象)

該当事項はありません。